

平成 27 年度 第 1 回長野市総合計画審議会 会議録

日時：平成 27 年 9 月 10 日(木)

15 時 30 分～17 時 00 分

会場：メルパルク長野 3 階 白鳳

1 開会

(事務局)

定刻になりましたので、これから長野市総合計画審議会を開会いたします。

私、企画課の花立と申します。よろしくお願いいたします。

本日の資料は、事前にお送りいたしました、次第と資料を綴じたセット、別冊資料集といたしまして 8 冊、参考資料を 1 部と平成 27 年度版総合計画実施計画、それから後ほどご説明しますが、別冊資料 3 の 35 ページ分の差替えですのでご確認ください。

川北委員からご欠席のご連絡、山浦委員、柳沢委員からは遅れていらっしゃるのご連絡をいただいております。

それでは加藤市長からあいさつを申し上げます。市長、お願いします。

2 市長あいさつ

(加藤市長)

本日は、長野市総合計画審議会を開催しましたところ、ご多忙の中、ご出席いただき誠にありがとうございます。

また、委員の皆様方には、日頃から市政全般にわたり温かいご支援とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、皆様ご承知のとおり、長野市の人口は減少局面を迎えており、30 年後には 30 万人を割り込むことが予測されているとともに、少子・高齢化が急速に進むことも予測されています。

国におきましては、日本全体の人口減少に歯止めをかけ、地方に活力を取り戻す、いわゆる地方創生に国を挙げて取り組むこととしています。

こうした諸情勢を踏まえて、本市の最上位の計画であり、長野市の今後 10 年間の方向を示す指針であります第五次長野市総合計画を策定することになった次第であります。

策定に当たっては、市民の皆様の参画を積極的に図ってまいりたいと考え、後ほど、担

当から説明がありますが、私が先頭に立ち、様々な年代や立場の皆様と懇談して、貴重なご提案をお聴きしてまいりました。

具体的には、小・中学生が人口減少について勉強し、大人になる時のことを真剣に考え、自分たちが長野市を何とかしないといけないと感じていたことに驚いています。

また、高校生を対象に実施したアンケート調査では、「将来、就職したい場所」について質問したところ、市内在住生徒の53%が市外を希望している結果となっており、これを何とかしたいと思っています。

今後、審議会におけるご審議を始めとして、本日も集まりの審議会委員の皆様と作業部会員の皆様で、原案作成の上で計画策定をお願いすることになりますが、このようなスタンスでお願いできれば幸いです。

最後になりますが、総合計画の他に総合戦略についても策定していただきたいと考えており、策定作業も大変忙しいスケジュールとなっております。皆様方には、何かとご苦勞をお願いすることになると思いますが、活発な議論を期待いたしますとともに、「活力あるまち」「より多くの皆様が幸せを実感できるまち」を目指して大所高所からご指導賜りますことをお願い申し上げ、挨拶といたします。

3 諮問

(事務局)

続きまして、本審議会に対しまして、市長から総合計画等の策定について諮問申し上げたいと存じます。恐れ入りますが、三浦会長様、中央までお進みくださいますようお願いいたします。

委員の皆様のお手元へ諮問書の写しをお配りいたしますので、ご覧いただきたいと存じます。

【加藤市長、諮問書朗読】

4 自己紹介

(事務局)

続きまして、自己紹介に移らせていただきたいと思います。

委員の皆様には昨年からご就任いただいておりますが、今年度に人事異動のあった部局長と事務局職員から自己紹介させていただくものです。次第を綴じています資料の1・2ページに名簿を添付しておりますので、参考にご覧いただきたいと思っております。

－ 長野市部局長及び事務局職員 自己紹介 －

続きまして、三浦会長からごあいさつをいただきたいと思います。

5 会長あいさつ

(三浦会長)

ただ今、加藤市長から総合計画策定に関しまして諮問をいただき、責任の重さを感じているところです。本当に大丈夫かなど不安にも思っているところです。

人口が減少しているわけですが、私どもの世代ですと兄弟や孫が何人もいて、決してそのようなことは感じられない家族構成でした。いずれにしましても、何とかしていかないといけないと思っています。

計画策定に関しましては、委員の皆さんのご協力の下に進めてまいりたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。

6 議事

(事務局)

ありがとうございました。

誠に申し訳ございませんが、市長は、他の公務がございますので、ここで退席させていただきます。よろしく願いいたします。

それでは、審議に移らせていただきますが、議長につきましては、三浦会長にお願いいたします。なお、審議時間ですが事務局としましては午後5時過ぎを目途にお願いしたいと思います。よろしく願いいたします。

(三浦会長)

それでは、議事に入ります。

議事の(1)から(2)については、計画策定の体制や進め方に関することですので、事務局から一括して説明をお願いします。

(事務局)

はじめに、(1)長野市総合計画審議会作業部会(ながの未来フォーラム)について、ご説明いたします。

－ 資料に基づき説明 －

続いて、(2) 今後の日程（進め方）について、ご説明いたします。

－ 資料に基づき説明 －

以上で説明を終わります。

(三浦会長)

事務局からの説明がありました。

それでは、何か意見や質問があればお願いしたいと思います。

(事務局)

ここで、長野市総合計画審議会作業部会要綱第3の規定に基づき、部会員の委嘱を申し上げさせていただきます。本来でしたら委嘱書を皆様にお一人ずつお渡しするべきですが、時間的な制約もあり、既にお手元にお配りしてございます。ご了承いただきますようお願いいたします。

(三浦会長)

今後、非常にタイトな日程ではありますが、この審議会をはじめ作業部会を含めまして全体がスムーズに進行できますよう、審議会委員の皆様のご協力をお願いいたします。

続きまして、議事(3)の人口推計等について、事務局から説明をお願いします。

(事務局)

－ 資料に基づき説明 －

(三浦会長)

事務局からの説明がありました。

これから策定していく計画のベースとなるような内容でした。何か意見や質問があればお願いしたいと思います。

私から質問ですが、国が高齢者の定義を変えることは有り得るのでしょうか。65歳以上を70歳以上にする等、見せ方を変えて国全体の活性化を図らないと統計だけが先に走ってしまう気がします。

(事務局)

65歳、70歳ではまだまだ若いので、75歳以上を高齢者にしたらどうかといった話は聞きますが、具体的に人口の定義を変えていくという話はまだいただけていません。

(三浦会長)

次に議事(4)の第四次総合計画後期基本計画の現況と課題について、事務局から説明をお願いします。

(事務局)

－ 資料に基づき説明 －

(三浦会長)

事務局からの説明がありました。

現行計画の現況と課題について整理したものの説明でした。策定していく計画のベースとなるような内容ですが、量が量ですので、一つひとつを議論する訳にはいきませんので、それぞれのご担当の分野を読んでいただくということをお願いしたいと思います。

次に議事(5)の市民意見等の聴取結果について、事務局から説明をお願いします。

(事務局)

－ 資料に基づき説明 －

(三浦会長)

事務局からの説明がありました。

様々なアンケート調査や意見交換会を実施した結果について、整理したものの説明でした。これも策定していく上で参考となるような市民ニーズ等が表れていた内容でした。何かありましたらご質問をお願いします。

(本間委員)

今回長野市で実施したアンケートと、他自治体で実施したアンケートを比較したものはありますか。長野県だけの結果なのか、他県でも同じような傾向があるのか等に興味があります。

(事務局)

今回の調査は長野市独自のものですが、人口ビジョンの方には全国的な調査があるので、一部の項目については比較したものをお示しできると思います。

(金井委員)

今回のアンケート結果から、長野市の今後の計画を作っていく上でどんな課題が出てきたのか見えていません。ただ皆さんの意見を聞いただけでは寂しいので、私たちがどう戦略に活かしていくかが一番重要になると思います。市として、ここからどんなことを学んで、どんな課題が見つかったのかご説明いただきたいと思います。

(事務局)

今回の調査では、市民全般からのアンケートや、市外の方からのアンケートをサンプルとしてお示ししているのですが、アンケート結果から課題や市民のニーズを見つけるのは難しいと思います。そのため、市民や市職員からの直接の意見を求めています。

今後の策定に当たっては、個々の課題については、各部会でひとつずつ対応を考えていただくことになると思います。全体については、個々の分野においてそれぞれの課題が少しずつ見えてきている状態であるということになると思います。

(三浦会長)

長野県全体の話なのですが、子どもは非常に地域に対して夢を持っているのに、高校生になると都会に行きたいということになってしまいます。キャリア教育を含め中学校や高校の段階で、地域とどう向き合っていくかという指導が少ないのではないのでしょうか。長野市として、教育委員会等で議論はされているのでしょうか。

(上杉教育次長副任兼学校教育課長)

教育委員会としては、今年度から「しなのきプラン 29」という実施計画的な事業をまとめて、これから進めていくというところです。その中で目指す人間像を「グローバルな視野を持ちながら、ローカルに逞しく生きる自立した18歳」としていて、国際的な視野を持つのですが、地元に向けた教育をしていきたいと考えています。このプランを推進する中で、長野市に愛着を持ち、長野市に帰ってきてもらう、またキャリア教育を含め長野市で生活できるということを進めていきたいと考えています。

(山口委員)

アンケートの結果をこれからの我々の議論に活かしていくことが大事だと思います。

今は、年齢が上になっても結婚をしない人、できない人が増えていると思います。人口減少の一番の根底になるのは、結婚するかしないかということが大きなポイントになると思うので、教育の中で進めていければ良いと思います。

(三浦会長)

次に議事(6)の長野市まち・ひと・しごと創生総合戦略策定方針について、事務局から説明をお願いします。

(事務局)

－ 資料に基づき説明 －

(三浦会長)

事務局からの説明がありました。

総合計画ではなくて、総合戦略の策定方針について説明でした。何かありましたらご質問をお願いします。

(白石委員)

総合戦略と長野市総合計画との関連についてですが、総合戦略を今年度中に策定することになると、総合戦略に対する総合計画審議会委員の役割はどういったものになるのでしょうか。

また、施策を推進していくには財源が必要になるため、総合戦略は国の施策の影響を非常に受けることとなりますが、これから策定していく長野市総合計画も同様に影響を受けるのでしょうか。

(事務局)

理想は、総合計画が先に決まって、その上でより重点的に進めていく総合戦略を決めるという流れが一番だと思いますが、あいにく今年度中にまず総合戦略を決めて、総合計画が後になってしまうという状況です。

総合計画は、長野市全体の行政に関わる全体的なものをご審議いただくわけですが、総合戦略は、この5年間に地方創生に資する、人口減少の歯止めに資する、あるいは地域の活性化に資するようなものを重点的に取り組んでいくものであり、その内容をご検討いただくということで、別の作業部会もお願いしているところです。来週14日に、その作業部会で具体的な施策などについても踏み込んでご協議をいただきますが、その内容を本審議会にご報告、ご説明をし、ご意見をいただく中で形をつくっていきたいと考えています。

総合戦略は、今年度できたら終わりではなく、毎年見直しをしていきますので、場合によっては来年度以降総合計画を検討していく中で、これも総合戦略の中に加えた方が良いというものがあれば追加していくことも有り得ると考えています。

予算の関係としては、国ではこの戦略に向けて、財政的にも交付金や交付税という形で

大きく地方に支援をしていく姿勢を示しているので、交付金の対象となる事業かどうかという問題もありますが、こういったものを活用しながらやっていきたいと考えています。

(三浦会長)

総合戦略が総合計画の中にあって、総合計画がより包括的に取り込むという位置づけだと思います。総合戦略を立てることによって、総合計画がより議論しやすくなるという見方ができると思います。

(金井委員)

総合計画審議会の進め方について確認させていただきたいと思います。これからそれぞれの作業部会を進めていく上で、先に長野市の目指す姿をはっきりしておかないと、各作業部会がそれぞれの部会の思いの中で最善の施策を作っていくことになると思いますが、こういう長野市をつくるという方向性をはっきりした上で、各作業部会がそれに向かって施策を考えていかないと、結局出てきた施策の方向がばらばらになってしまうのではないかという気がします。長野市の目指す姿が非常に大事になると思います。

人口が減っていき、税収も減ってくると、今までどおりの行政サービスを提供することは不可能になってくるのではないかと思います。選択と集中が非常に大事になり、我々の作業部会はそのあたりを踏まえて、どの方向に向かってどういうことをやるということをきちんと押さえていかないと、終わってからまとめる時に莫大な負担がかかってくるのではないかと思いますので、進め方について確認させていただきます。

(事務局)

次第を綴じた資料の10ページの日程表をご覧ください。

金井委員のおっしゃるとおり、私たちも方向性を示さなければいけないと考えています。11月に第2回審議会があり、「基本構想の構成」と書いてありますが、今後は、作業部会でワークショップを行っていただきます。それぞれの部会で考え方を決めていただきながら、審議会では全体の構成についても考えていただき、基本構想の考え方についてもお話をさせていただきます。それを受けて、部会の方でも全体の構成を意識しながら、やっていきながら作っていきたいと考えています。日程的には前後するかもしれませんが、このような流れでやっていく予定でありますのでよろしくお願いいたします。

(三浦会長)

次に議題(7)のその他について、事務局から何かありましたら説明をお願いします。

(事務局)

－ 資料に基づき説明 －

(三浦会長)

事務局からの説明がありました。

この審議会に関する条例、これから策定する計画に関する条例、今年度版の実施計画についての説明でした。我々の立場やこれからの動きに関する内容でしたが、時間もそろそろなくなってきましたので、このへんで終了したいと思います。

それでは、マイクを事務局へ返します。

7 閉会

(事務局)

次回の日程ですが、10月23日(金)午前10時から市役所講堂で開催し、総合戦略の策定に関しましてご審議いただく予定でおりますのでよろしくお願いたします。

それでは、引き続きまして、5時30分を目安に市長を交えた懇親会を10階会場で開催予定でおりますので、ご移動いただきますようお願い申し上げます。

以上をもちまして、審議会を閉会いたします。ありがとうございました。